

公認心理師受験のために必要な科目と本学科目の対応(大学院)

公認心理師試験受験のために必要な科目(大学院)		対応する本学科目
I	1 保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特論 臨床薬理学特論 病院臨床心理学特論
	2 福祉分野に関する理論と支援の展開	発達心理学特論Ⅰ* 発達心理学特論Ⅱ* 発達心理学特殊研究Ⅰ* 発達心理学特殊研究Ⅱ* 発達心理学特殊研究* 認知心理学特論Ⅰ 認知心理学特論Ⅱ 認知発達心理学特論Ⅰ 認知発達心理学特論Ⅱ 児童心理療法特論 児童臨床特論 心理学研究法特論*
	3 教育分野に関する理論と支援の展開	学校臨床心理学特論 発達心理学特論Ⅰ* 発達心理学特論Ⅱ* 発達心理学特殊研究Ⅰ* 発達心理学特殊研究Ⅱ* 発達心理学特殊研究* 心理学研究法特論*
	4 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	(対応科目なし)
	5 産業・労働分野に関する理論と支援の展開	(対応科目なし)
II	6 心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習Ⅰ 臨床心理査定演習Ⅱ
	7 心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅱ グリーフケア特論* ブリーフセラピー特論 行動療法特論 認知行動療法特論
	8 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	社会心理学特論Ⅰ 社会心理学特論Ⅱ 社会心理学特殊研究 家族療法特論 家族療法・ブリーフセラピー特論 グリーフケア特論*
	9 心の健康教育に関する理論と実践	(対応科目なし)
III	10 心理実践実習	臨床心理実習

I (1~5)については、1を含む3科目以上を履修する。

II (6~9)については、2科目以上を履修する。

III (10)については、必ず履修する。ただし、施設の分野及び時間数を問わない。

*がついた本学科目を、複数の必要な科目に同時に重複して対応させることはできない。